

# Sx500シリーズスタックابلスイッチでの管理アクセス認証の設定

## 目的

認証方式は、ネットワーク管理者がSSH、Telnet、HTTPなどのさまざまな方法を使用してデバイスへのアクセスを許可または拒否するのに役立ちます。RADIUS、TACACS+、およびローカルは、SG500xシリーズの認証設定機能で有効にできる3種類のセキュリティです。また、スイッチにセキュリティを設定しないオプションもあります。RADIUSは、クライアントからサーバに転送されるアクセス要求パケットのパスワードだけを暗号化します。TACACS+はパケットの全体を暗号化します。ただし、標準のTACACS+ヘッダーは残ります。ローカルは、スイッチに保存されているユーザ情報を確認するだけです。ユーザ認証は、認証方式が選択された順序で行われます。最初の認証方式が使用できない場合は、次に選択した方式が使用されます。認証方式が失敗するか、ユーザの特権レベルが不十分な場合、ユーザはスイッチへのアクセスを拒否されます。

この記事では、SG500xシリーズスタックابلスイッチでSSH、コンソール、Telnet、HTTP、HTTPSなどのアクセスモードに認証方式を割り当てる方法について説明します。

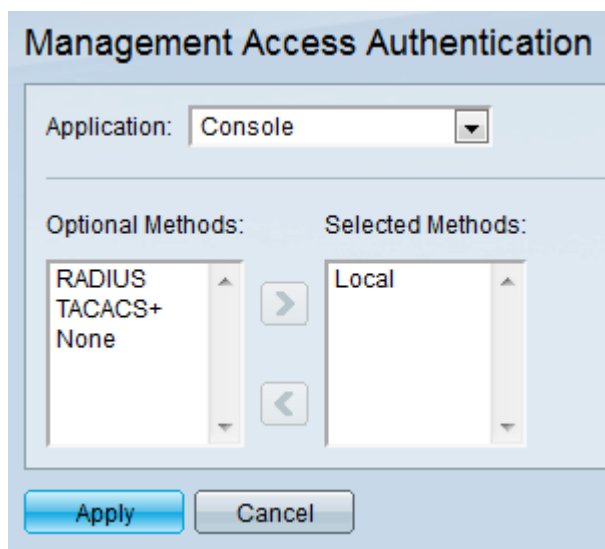
## 該当するデバイス

- ・ Sx500シリーズスタックابلスイッチ

## [Software Version]

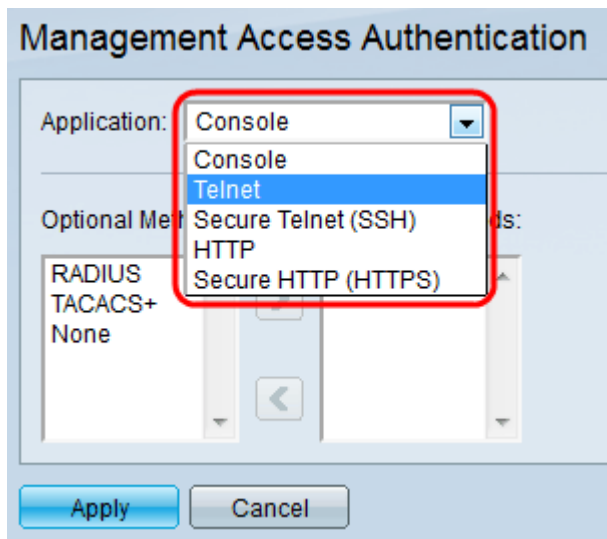
- ・1.3.0.62

## 管理アクセス認証の設定

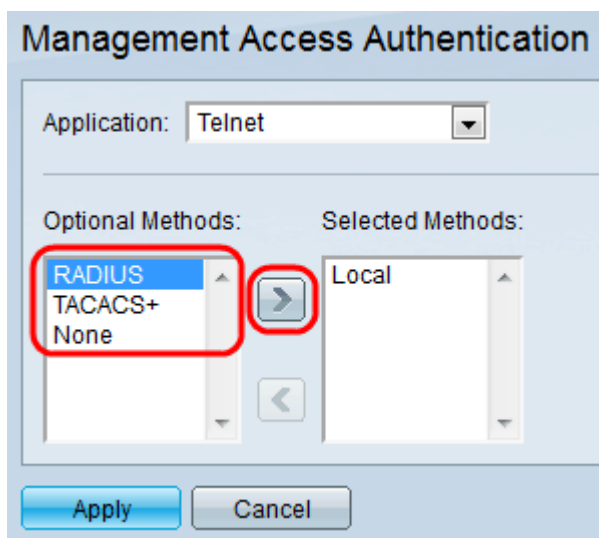


The screenshot shows the 'Management Access Authentication' configuration window. The 'Application' dropdown menu is set to 'Console'. Below this, there are two columns: 'Optional Methods' and 'Selected Methods'. In the 'Optional Methods' column, 'RADIUS', 'TACACS+', and 'None' are listed. In the 'Selected Methods' column, 'Local' is listed. There are arrows between the columns to move methods. At the bottom, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Security] > [Management Access Authentication]を選択します。「管理アクセス認証」ページが開きます。



ステップ2:[Application]ドロップダウンリストから、認証を割り当てるアプリケーションのタイプを選択します。



ステップ3:[Optional Methods]リストから認証方式を選択し、[Right Arrow]アイコンをクリックして[Selected Methods]リストに移動します。

- ・ RADIUS : 認証はRADIUSサーバ上にあります。RADIUSサーバを設定する必要があります。
- ・ TACACS+ : 認証はTACACS+サーバ上にあります。TACACS+サーバを設定する必要があります。
- ・ ローカル : スイッチに保存されている情報によってユーザ情報が確認されます。
- ・ なし : スイッチにアクセスするために認証は必要ありません。

### Management Access Authentication

Application:

---

Optional Methods: Selected Methods:

TACACS+	>	Local
None	<	<b>RADIUS</b>

ステップ4: ( オプション ) 「選択したメソッド」からメソッドを選択し、左矢印アイコンをクリックして選択したメソッドから削除し、「オプションのメソッド」に移動します。

ステップ5:[Apply]をクリックし、**認証設定**を保存します。